

学校だより

R 7. 10. 22 発行

清水小学校



家庭数

忘れてはならぬもの 「感謝」

校長

保護者の皆様、地域の皆様、先日の運動会では多くの方々に御来校いただき、誠にありがとうございました。皆様の御声援を受け、子どもたちは力いっぱい競技やダンスに取り組むことができました。子どもたちは、ふるさと・清水の大切な宝物です。これからも子どもたちの健全育成のため、御理解と御協力をお願い申し上げます。

ところで、みなさんは、下の「ならぬもの十訓」というものをご存じでしょうか。私が初めてこの「十訓」に出合ったのは、新米教師の頃。亡くなった祖母の遺品を母と共に片付けていたときでした。

茶箆笥を整理していると、菓子箱があり、その中に、祖母が心に残った言葉を書き記したと思われる紙の束が見つかりました。偉人の言葉や人生訓など、内容は様々。ビデオもコピー機も使ったことがない明治生まれの祖母でしたので、テレビや新聞、書籍等で見たり聞いたりした言葉を一生懸命書き写したのでしょう。明治生まれの祖母が、誰に見せるでもなく、名言や金言をひたむきに書き溜めていたことに少なからず驚き、心を動かされました。

「ならぬもの十訓」は、その中の一つです。新米教師の私には、この言葉が祖母からの時空を超えたメッセージのような気がしてなりませんでした。

この中でも、私が最も大切にしている言葉は、一条目の「忘れてはならぬもの『感謝』」です。毎日笑顔をくれる清水小学校の子どもたちにも、彼らを守り育ててくださる保護者や地域の皆様にも「感謝」の毎日です。

ならぬもの十訓
一 忘 れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ
二 言 れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ
三 ま れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ
四 起 れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ
五 叩 れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ
六 失 れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ
七 笑 れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ
八 持 れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ
九 捨 れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ
十 乗 れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ
の の の の の の の の の の
「感謝」
「ぐち」
「つむじ」
「の短気」
「人の頭」
「信用」
「人の落ち度」
「ねたみ」
「義理人情」
「口車」

清水っ子俳句広場

運動会も終わり、朝夕は肌寒く感じる日が多くなってきました。校庭の落ち葉やどんぐりからも秋の深まりを感じます。みなさんからは、秋の味覚や風景をたった俳句がたくさん集まりました。

今回は、二年生、五年生の作品から、教頭先生に選んでいただきました。

【清水っ子俳句大賞】

二年

ぶどうがりもうたべられない一つぶも

(評) この俳句のすごいところは、下五(一番下の五文字)

です。「一つぶも」食べられないなんて、いったいどのくらい食べたのでしょうか。一房(ぶどうはふさで数えます。)それとも二房?もつとかな?秋空のもと、おいしいぶどうをほおばっている姿が浮かんできた俳句です。言葉の並べ方も上手な俳句です。

五年

会心の一打飛んでいく秋の空

(評)

ホームランを打ったの?ソフトボール部で頑張っている姿が浮かびます。この句は、「会心の一打」で切って「飛んでいく秋の空」と読んでください。澄んだ秋空を割って飛んでいく球。俳句を読む私たちの心もさわやかにしてくれるすてきな俳句になりました。

【佳作】

二年

おかあさん早くおこしておみこしだ
どんぐりに三人そろって顔をかく
四分でふくろいっぱいドングリひろい
いなかからとどいた新米もう三ばい

五年

運動会ソーラン節で汗光る

落ち葉ふむ自然の足あと追いかけて
六年と息合わせ舞う運動会

運動会特集！



勝利の道を切り開け 一秒に込める全速力

体育主任

秋空の下、今年度の運動会が無事に終了いたしました。当日はたくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただき、子どもたちの頑張る姿を温かく見守ってくださったこと、心より感謝申し上げます。

今年度から、全校種目の玉入れが加わったことで、より一層、練習から本番まで、一人ひとりが目標を持ち、仲間と声を掛け合いながら一生懸命取り組んできました。当日の競技や演技には、それぞれの努力の跡がしっかりと表れており、成長した姿をたくさん見る事ができました。

特に印象的だったのは、勝ち負けに一喜一憂するだけでなく、互いを応援し合い、支え合う姿が随所に見られたことです。運動会を通して、体力面だけでなく、協力する力や思いやる心も育まれていることを実感しました。

これからも体育の授業や日常の中で、子どもたちの「やってみよう」「がんばろう」という気持ちを大切に育てていきたいと考えています。今後とも、温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

はじめてのうんどうかい

1年

わたしは、はじめてのうんどうかいでリレーのせんしゅになれました。いっしょうけんめいはして、2いになることができました。チームのみんなと、きもちが1つになったなとかんじました。

かっこいいうんどう会

2年

わたしの赤組はまけてしまったけど、れんしゅうのせいかは、はっきできました。わたしがうんどう会の中で一番楽しかったのは、リレーの人をつれて行く「しきがかり」です。少しくんちょうしたけど、れんしゅうしたように間ちがえずにできてうれしかったです。お兄ちゃんの「ソーランぶし」も「かりものきょうそう」もお姉ちゃんの「ダンス」も「リレー」もぜんぶかっこよかったです。

運動会でがんばったこと

3年

ぼくが運動会でがんばったことははずかしがらずに堂々と踊れたことです。教えてもらったダンスが難しいと思ったけれど友達に励ましてもらって勇気が出ました。本番はとても良いダンスができました。個人走では自分は1位になれなかったけれど、友達が1位になってとてもうれしかったです。来年の運動会もがんばりたいと思います。



みんなで楽しんだ運動会

4年

私が今年の運動会で心に残っているのは、リレーです。練習では先生にバトンパスを教えてもらい、みんなと協力して練習に取り組みました。本番では1位になることはできず、くやしかったですが、みんなとがんばったので、よい思い出になりました。

私は来年、高学年になります。5、6年生のソーラン節やおどりを見て、カッコいいなと思いました。私も立派な高学年として運動会をむかえられるよう、これからの学校生活1日1日を大切にしていきます。



力を合わせてがんばった運動会

5年

私が心に残ったことは「ソーラン節」と「リレー」です。初めてチャレンジしたソーラン節は思ったよりむずかしくて大変でした。本番では、今まで練習してきた中で一番上手におどれたと思いました。リレーでは、ぬかされてしまってくやしかったけど、最後まで全力で走り切れてよかったです。

がんばったことは、係です。決勝係は大変だったけど、今までの運動会は高学年が係の仕事をしてくれてたんだと感じました。始まりから終わりまで力を合わせ全力でできました。みんなと協力することに大切さを感じました。高学年としてよい姿を見せられたと思います。

最後の運動会

6年

6年生最後の運動会。快晴の空の下で実施できました。

まず、放送進行係では、みんなが聞こえるように「ゆっくりと大きな声ではきはきと」を心がけました。しっかりと伝わったと思います。実況も、その場に応じて、みんなが状況を分かりやすくなるようにしました。学年リレーでは、初のアンカーを任されました。結果は2位。少し悔しいですが、白が1、2位をとれたのでチームの優勝に貢献できてよかったです。あの舞台上で、3人が並んだとき、すごく盛り上がりました。1人抜かすことができたので良かったです。最後に、「ソーラン節」、「爽涼鼓舞」では、感動を届けられたと思います。全力（100パーセント）で運動会を盛り上げられたと思います。

たくさんの人に、すごかったよ、ナイスラン、感動したよ、と褒めてもらいました。最後の6年生の運動会、最高でした。このような運動会ができたのは、たくさんの方の、支え、協力があつたからこそだと、感じました。

全力で輝いた運動会！

6年

小学校生活最後の運動会が終わりました。僕は今年、決勝係になりました。決勝係では、コーン回収やゴールテープを持つ担当などの役割がありました。一人一人が輝いたので、いい運動会だったと思います。

僕が一番良かったと思うのは、ソーラン節です。今年のソーラン節は、6年生がはっぴの背中に好きな文字を書きました。僕は、「輝」という文字を選びました。ソーラン節は、毎日練習してきたおかげで、本番は全力で輝くことができました。

赤組は負けてしまったけれど、小学校最後の運動会で全力を出すことができたのでよかったです。中学校でも全力を出して輝くことができるように頑張りたいです。

